

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.2.10	会 場	清原体育館	試合No.	宇 短 附	9	19	20	22		70
主 審	大川 尚	副 審	青木 太一	B 4	市 川	19	15	23	17		74

宇都宮短期大学附属高等学校(栃木)

コーチ 小林 充 A・コーチ 上阪 龍範 マネジャー 鈴木 志歩

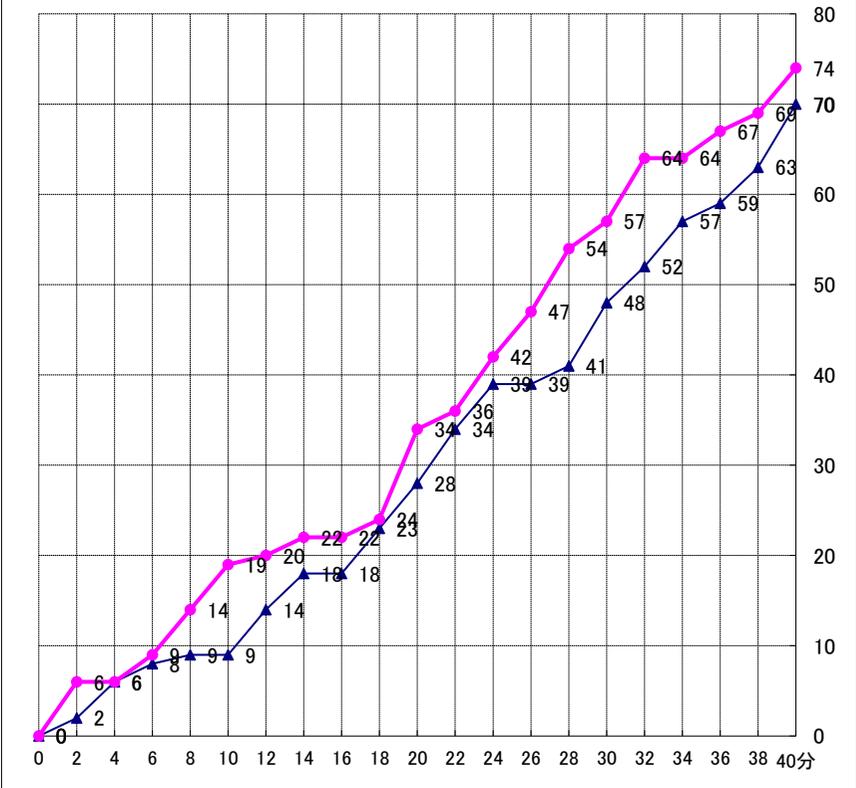
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
御堂地 思音	4	31	3	6	10	17	2	2	1	1	10	11
大川 勇樹	5	5	0	4	2	14	1	2	0	1	1	2
小幡 敬	6	11	3	7	1	3	0	0	4	1	11	12
加藤 大悟	7	12	0	0	6	16	0	0	2	7	6	13
松下 拓泰	8	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	1
畑田 悠陽	9											
大島 泰成	10											
福里 在恩	11											
柴田 魁世	12	4	0	1	2	3	0	1	2	2	0	2
金原 駿太	13											
中村 日向大	14											
関 尚隆	15											
木村 達樹	16											
永山 雄希	17											
影澤 祐希	18	7	0	1	3	6	1	4	1	3	5	8
チ ャ ム									0	2	3	5
合 計		70	6	19	24	59	4	9	13	17	37	54
成功率			31.6%		40.7%		44.4%					

山梨県立市川高等学校(山梨)

コーチ 吉川 仁 A・コーチ 有賀 駿 マネジャー 太田 仁

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
松久保 音羽	0	9	0	2	3	9	3	4	1	6	9	15
吉井 隆人	1											
平嶋 悠人	2											
薬袋 壺心	3											
相田 拓海	6											
藤巻 成	7											
中村 悠真	8	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	2
小林 優希	9											
太田 悠稀	20	18	0	5	8	11	2	4	3	6	2	8
中込 昂	21											
名取 楽	22	13	3	7	2	5	0	0	4	2	3	5
飯嶋 華王	23	2	0	2	1	3	0	0	2	2	3	5
太田 大稀	24	25	7	27	2	4	0	0	4	3	4	7
宮下 雅也	25	7	1	5	2	5	0	2	0	1	3	4
小澤 咲太	26											
チ ャ ム									0	0	1	1
合 計		74	11	51	18	37	5	10	14	21	26	47
成功率			21.6%		48.6%		50.0%					

得点経過



戦評

一回戦、宇短附対市川。宇短附はハーフマンツー、市川は1-2-2のゾーンで構える。市川はコートを広く使い、パス&ランから②太田悠、④太田大の3Pのシュートでリズムを掴もうとした。対する宇短附は④御堂地、⑫柴田が果敢にゴールにむかう。宇短附がリズムを掴めないでいるなか、市川は外角のシュートを丁寧に沈め、第1ピリオドを9対19で市川がリードして終える。第2ピリオド、宇短附のスティールからの速攻で試合が始まった。宇短附④御堂地の3P、⑦加藤のゴール下で奮闘する。残り3分、宇短附④御堂地の連続得点で逆転に成功するが、市川②太田大のドライブと連続3Pで再び市川が宇短附を引き離しにかかり、28対34で市川がリードを守って後半を迎える。後半、開始早々に宇短附⑥の3Pが皮切りに、④御堂地のタップシュートなどの連続得点で同点にするも、市川②名取のドライブや3Pで簡単には宇短附に流れを渡さない。第3ピリオドの半分を過ぎて、宇短附は守備を2-1-2ゾーンに変えるが②名取の3Pや⑤宮下のアンストでなかなか点差が縮まらなかったが、宇短附④御堂地のバンクシュートの3Pで流れは傾くが、市川②太田大が終了ブザーと同時に3Pを決め、48対57で第4ピリオドを迎える。最終ピリオド、市川②太田大の3Pを決めるが、宇短附⑥小幡がドライブと3Pでやり直す。市川は外角のシュート、宇短附は個人技や飛び込みリバウンドなど互いの強みを生かした一進一退の攻防が続く。宇短附⑩のパスカンから宇短附の連続得点が続き、残り43秒、④御堂地の3Pでついに1点リードする。市川すかさずタイムアウトで落ち着きを取り戻し、⑤宮下の3Pで再び逆転する。なんとかか得点したい宇短附だが、最後の④御堂地のミドルシュートは惜しくも外れ、最後は70対74で市川が二回戦へと駒を進めたが、最後まで走り続けた宇短附の粘りも称えたい。

記入者 小山 幸広